

平成 22 年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間 (5~10年) が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)
 (対象：平成 17 年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト縮減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)
7	再評価時点 H17	玉島川 広域一般河川改修事業 事業主体：県 事業地：唐津市 (浜玉町)	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 目的とする河道計画 ・ 計画流量 550m ³ /s ・ 計画治水安全度 1/30 ・ 流域面積 103.8km ²	全体事業費：C=40.8 億円 工期：S55~H24 改修延長：L=3,200m 事業内容：掘削・築堤・護岸、橋梁3基 堰 1 基	(H16末進捗率 62%) (年平均進捗率2.6%) (主要残工事) ・掘削・築堤・護岸 ・道路橋 1 基・堰 1 基	(過去の災害実績)H3.9 浸水戸数 床上34戸 床下65戸	前回再評価時と比較し、費用対効果の要因の大きな変化はない。 現在B/C=3.13		再評価実施後 5 年が経過	継続
	現時点	玉島川 河川整備交付金事業(広域河川改修事業)		前回評価時より全体事業費が増額となり、工期も延長した 全体事業費：C=44.0 億円 工期：S55~H29 改修延長：L=3,200m 事業内容：掘削・築堤・護岸、橋梁3基 堰 1 基	用地取得は梅豆羅橋右岸上流以外は完了、工事は玉島井堰が完了し、護岸については梅豆羅橋下流までの区間が概成している。 (H21末進捗率 88%) (年平均進捗率2.9%) (主要残工事) ・掘削・築堤・護岸 ・道路橋 1 基	・佐賀県行財政改革緊急プログラムver.2.0(H19~H22) (地域の状況) 流域内では、西九州自動車道の供用が開始され、宅地開発が進んでおり、また基幹産業であるハウスマカン用のビニールハウスが広がっている。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果 (B/C) を算出した。 総便益(農作物被害・公共土木施設等災害被害等軽減額) B=25,341 百万円 総費用 C= 8,698 百万円 現在 B/C=2.91	護岸には、現地発生石材や近隣他工事で発生した石材を利用している。	再評価実施後 5 年が経過	平成3年等の洪水被害を軽減するために、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上させ、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。
	理由等	今年度より補助金が交付金化されたことによる。		河道掘削土の運搬距離増による処分費増。 予定していた樋管の統廃合が行えず、樋管の設置個所が一カ所増となったことによる工事費の増。 玉島井堰の基礎形式の変更(直接基礎→杭基礎)による工事費の増。		進捗率 		前回再評価時と比較し、全体事業費が増額したことからCが増大し、費用対効果が若干の減となった。		